

# 三重県における年占い神事

〇水谷令子・久保さつき・西村亜希子

「粥占（かゆせん）」「粥試（かゆだめし）」「世試祭（よだめしさい）」などと呼ばれる神事がある。1年の天候や作物の豊凶を占う年占いで、万葉の昔から行われていたといわれる。類似の神事は全国に散在しているが、三重県では四日市市から松阪市までにみられ、伊勢平野の稲作地帯の中心部に集中して分布する。稲作は自然条件、特に雨量や台風の襲来により作柄が左右されるため、農作業に先駆けて雨量の多寡を占い、早稲・中稲・晩稲などの作柄を予想し、作付け計画の参考にしようとするものである。本来御飯（みくわ）神事（田植えから収穫までの所作を行って豊作を予祝する）とセットで行われてきたものといわれるが、われわれの調査した限りでは椿大神社のみが2つ神事を同時に実施している。伊奈富神社では御飯神事は世例祭の1か月前に実施する。

表に示したように「粥占」神事の実施日は1月14日と2月14日が多い。旧暦1月15日の小正月の行事であったものが、新暦への移行によって祭日の変更が行われたのであろう。「粥占」と同時に木片の燃え具合などをみる「火試」で雨量を占うところもあるが、粥や飯の出来具合（水気の多少）で雨量の多寡を占う場合もある。更に、稲作だけでなく、稲以外の穀類や野菜の作柄を占う例も多い。粥や飯に小豆を加える場合もある。神事の実施も夜中に氏子代表と宮司のみで行い、翌朝拝殿前に公表するもの、氏子全員の参加のもとに占い、結果を氏子全員に回覧する場合などさまざまであった。

「粥占い」以外に、「馬占い」（多度神社の上げ馬神事など）や「弓占い」（三重県南部に多い）などの年占いもあり、また三重県には日本唯一といわれる「鮎占い」も行われている。7月の大宮町滝原の「おんべまつり」は12尾の鮎を滝壺に投げ入れて12か月の吉凶を占うもので、珍しい神事として多くの見物者を集めている。

## 三重県における粥占い

神社	地域	実施日時	神事の名称	占う対象	炊きあがり
岸田神社	鈴鹿市岸田町	1月2日10時	粥占	稲作	白飯
小許曾神社	四日市市小古曾町	1月14日18時	粥試	稲作・小豆	小豆粥
阿射加神社	松阪市小阿坂町	1月14日18時	粥試・火試	稲作・雨量	小豆粥
敏太神社	松阪市美濃田町	2月5日10時	粥試	稲作	白粥
菅原神社	鈴鹿市国分町	2月14日12時	粥占・火試	稲作・野菜・雨量	白粥
伊奈富神社	鈴鹿市稲生町	2月14日20時	世例祭	稲作・雨量	白飯
酒井神社	鈴鹿市郡山町	2月14日13時	よだめし祭	稲作・麦作・畑作	小豆粥
椿大神社	鈴鹿市山本町	2月21日6時	粥占神事	稲作・穀類・野菜	小豆飯
* 仏式	河芸町北黒田	2月13日夕刻	粥占い	稲作	白粥